

なのはな だより

老健ちば

No. 100

November 2020

これからも
頑張ります!

NANOHANA
DAYORI



船橋ケアセンター「敬老会」

INDEX

① 会長挨拶

なのはなだより
100号を迎えて

千葉県老人保健施設協会 会長 平山登志夫

トレンドTOPIX 潮流
(ニュースウォッチ)

新型コロナウイルス対策の
交付金制度がスタート!

③ ④ 〈特集〉

今年度初の研修会
「感染症研修会」を開催!

⑤ ⑥

支援物資の寄付をいただきました。

自由気ままに
ペーパーブログ

福祉施設における

コロナ禍のメンタルヘルスケア

介護老人保健施設 ユーカリ優都苑
管理栄養士 長谷川 由易



⑦ 〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

● 龍岡ケアセンター

● メディケア51

⑧ 〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

2020年11月20日 発行

● 発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ● 編集者/広報委員会

● 〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-259-8435 FAX:043-259-8436



会長挨拶

なのはなだより100号を迎えて

千葉県老人保健施設協会

会長 平山 登志夫



なのはなだよりの一号は12名程度のメンバーで創めた記憶がある。100号を記念してその後の様々な問題を回想し現在のコロナ問題さらに将来の社会保障制度に対する執筆者の意見を述べてみたい。

介護老人保健施設は我国の高齢社会が急速に進み病院に長期入院を続ける高齢者を在宅に復帰させる為、昭和62年病院でも又既存の施設でもない中間施設の構想が発表され新しい施設造りの為に全国から7施設を選び、新しい施設の構造、運営について諮問し、昭和62年に1年間のモデル事業をスタートした。

選ばれた7施設は千葉県晴山会平山、長野県佐久総合病院若月、大阪河崎、近畿川村、中町日赤志賀、山口県穎原、九州矢内のメンバーであった。選ばれた7施設は協力しあい医療に頼らないケアにより生活機能を改善し、在宅での自立をした生活が送れる在宅復帰を目指した。当時は介護という言葉もなかった。

1年間のモデル事業は見事に高齢者の在宅復帰が可能である事を実証した。このモデル事業の成功が現在の介護保険制度の基盤になっている。病院よりも医師、介護職の少ない施設で医薬品に頼らずケアで身体機能を改善し、自立を促す試みは多くの国から注目され、米国高齢者の会議に招待され議論に加わった。これが縁となってハーバード

大学のリップシツ教授からハーバード大学のリハビリ病院と我々晴山苑との間で日米の介護の比較する事を提案され1年をかけ実行した。

この結果注目されたのは我が国の高齢者の転倒の少なさ、入所している老人の楽しそうな笑顔であった。日本側の介護スタッフの自立を促す熱意と老人に寄り添う癒しの姿勢が称賛された。又米国では老人の不安を解消する為に使用する精神安定剤の量が日本側の数倍も多い事も明らかにされた。安定剤の副作用による転倒も考慮されその後の高齢者介護の指標となる。MDSに安定剤の使用上の注意事項が取り入れられた。この1年間両国の介護比較は大きな成果を上げたと評価されている。

その後我国の高齢社会の更なる急速な進展により現在介護老人保健施設の入所者の平均年齢が90歳に及び、身体機能が衰え医療ニーズが増大し在宅復帰が困難となっている。又、介護人材の不足も施設の運営に影を落としている。

更に大きな問題は最近のコロナウイルス感染者の増加により、いくつかの施設でクラスターが発生した。医師看護職の数も少なく医療設備が限られた施設での感染に対する防御力は小さく、一度施設内で集団感染が生じた場合は大きな事態を招く事になる。

中間施設のモデル事業の期間、新しい施設造りで施設内での感染に対して清潔区域と非清潔区域の分離問題に対

し京都大学外山建築教授と議論したが当時、入所者は二応医療ニーズの少ない高齢者が対象である事で施設構造に感染に対する配慮がされなかった事は非常に残念な事である。

コロナ政策に対しては厚労省、医師会、保健所の指示に従いマスク、手洗い、消毒、三密等に厳重に注意して行う事である。我国の社会保障制度の将来を思い描けば国の薦める地域医療構想で医療と介護の機能を併せ持つ介護老人保健施設は我国の社会保障制度に大きな役割がある。

今後高齢者施設として超高齢、重度多病は勿論今後必ず増加する認知症等々に対し老人保健施設の機能を向上させると共に、医療にも介護にも対応できる人材の育成、AIを取り入れた介護技術、施設運営にも配慮が必要である。

更に必要な事は古くからヨーロッパで言われている医療、介護現場で危険、困難な仕事をする人達は神に選ばれた人として尊敬され又、従事する人の誇りにもなっている。

我国の介護も先に述べた様に他国からも高い評価を受けている。今後更に進展する高齢社会の様々な事態に対し施設との正しい運営と従事する人の誇りと自信と堅い決意が必要である。

新型コロナウイルス対策の

交付金制度がスタート!

7月から再び感染拡大の傾向が強まり、8月にピークを過ぎたとはいえ、秋以降の経営への不安が強まっている。COVID-19の感染者のうち重症者や死亡者は圧倒的に高齢者が多い。高齢者施設でクラスターが発生すれば深刻な事態になる可能性が高い。

そんな情勢の中、慰労金やかかり増し経費を支給する「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」制度がスタートした。

慰労金の支給額は、感染者または濃厚接触者に対応した施設の職員の場合には20万円、これ以外の施設の職員は5万円。支給対象の職員の要件は、介護サービス事業所・施設等で通算10日以上勤務した者である。介護員以外でも、利用者と接触する業務の職員は全て対象となる。

注意すべき点は、慰労金が非課税所得に該当するため、扶養範囲の上限である、いわゆる「年収の壁」には影響しないため、給与に含めて支給してはいけない。給与に含めてしまうと、源泉所得税や雇用保険等の対象になり得るからだ。

この慰労金は、本来は各職員が自治体に直接申請すべき性格ののだが、事

務負担軽減の観点から事業者が取りまとめて申請する。事業者にとって「職員からの預かり金」になるため、介護職員処遇改善加算のように独自の判断で各職員の支給額に差を設けることはできない。

申請書の提出先は各都道府県の国民健康保険団体連合会で、原則として電子請求受付システムによるインターネット申請により行う。申請の受付期間は、毎月15日から月末までの間。慰労金の入金先は、国保連に登録されている介護報酬の振込用の口座と同じで、申請の翌月27日に振り込まれる。

緊急包括支援交付金のうち、かかり増し経費の助成対象は、2020年4月1日以降に新型コロナ禍対策のために支出を余儀なくされた経費である。すべての介護事業所と施設が対象でCOVID-19の感染者や濃厚接触者の有無は問わない。支給の上限額はサービスごとに設定されている。2021年3月末までにかかった経費が対象となり、上限額に達するまで何度でも申請できる。

助成対象となるかかなり増し経費とは、例えば、感染症対策に要したマスクや消毒液など衛生用品の物品購入費の

ほか、職員増員の人件費、インターネット会議や利用者とのテレビ電話に使うタブレットなどのICT（情報通信技術）機器の購入費・リース費など。新型コロナ禍対応の費用であることを説明しなければならぬので、その領収書や記録を残しておく。

交付金制度には「サービス再開に向けた支援」として、感染症防止の環境整備への助成事業もある。在宅サービスで「3密」を避けた環境整備に要した物品の購入費用などが対象だ。例えば、長机、飛沫防止パネル、タブレット等のICT機器などである。

「新型コロナ禍はネット会議などのIT化を10年先に進ませた」といわれる。介護分野でも今後、サービス担当者会議などをネット会議で代用できるように基準改正の検討が始まる見通いだ。今までネットの活用が消極的だった介護事業者が、大きく方向を転換しつつある。

これからしばらくは「Withコロナ」の情勢が続くが、それは旧態依然とした体制から脱却する良い機会でもある。

(日経ルースター9月号より「部記事抜粋」)

支給対象の職員の要件は、
介護サービス事業所・
施設等で通算10日以上
勤務した者とする。



今年度初の研修会 「感染症研修会」を開催!

この度、なのはなだよりが第100号を迎えました。今後も皆様にホットな情報をお届けしたいと思います。
令和2年9月25日(金)の午後より、ホテルポルトプラザを会場に感染症研修会が開催され参加者57名の多職種の方が出席されました。世間ではまだまだ新型コロナウイルスの感染症が油断できない状況です。「マスクの着用と消毒をお願いします」や「ソーシャルディスタンス」等と書いてある光景を必ず目にします。
今回、広報委員会は今年度初の「感染症研修会」を紹介させていただきます。また、今年度の研修会はなかなか行えない状況だった為、研修委員の皆様が苦労した点などを塩原委員長にインタビューをお願いしました。

1 講義「新型コロナウイルス感染症患者発生から終息まで」 ～市川ゆうゆうで何が起きたのか～

講師 | 介護老人保健施設 市川ゆうゆう
施設長 伊藤 慎介氏

感染者が出てから終息まで、職員全員が一致団結し保健所や近隣医療施設と連携して感染拡大を防いだことがとても印象的だった。

クラスター対策としては、「かからない」「うつさない」「はこばない」事を職員一人一人が意識する事が大切だと言われていました。



2 講義「高齢者社会福祉施設の新型コロナウイルス感染予防対策」 ～クラスター発生施設への支援活動を通して～

講師 | 千葉県がんセンター 感染対策推進室
感染管理認定看護師 前田 佐知子氏

支援先では人材不足と感染対策上必要な物品の確保がとても難しいとお話されていました。普段から気を付けておくことは職員の健康管理をしっかりと記録管理していく事が大切。(ただ、平熱を把握する場合個人差があるので注意が必要)



3 講義・演習「新型コロナウイルス感染症対策から考える感染対策の基本」

講師 | 千葉県循環病センター 医療安全管理室 感染管理認定看護師 大塚 モエミ氏

職員が足りないからと言って、休まないのではなく体調不良の時は休める体制・雰囲気作りをすることが大切。感染源にならない知識と技術を学んでいく事が重要だとお話されていました。また、ゴミ袋を使ったエプロン・ガウン作りは皆さん熱心に覚えようとする姿が印象的でした。



▶ エプロン作りの様子



▶ ごみ袋ガウン作りの様子



▶ ガウン完成

安心して受講していただくにあたり研修委員が配慮した点！

- 人数制限の徹底。(各施設1名限定で通常収容3分の1の会場選定)
- 会場は天井が高く、会場入り口扉を開け換気ファンを設置して換気の徹底。(会場のエアコンの機能で内気を吐き出す事で換気の配慮)
- 体調管理の確認。(体温測定を徹底し、1人用使い捨てアルコール消毒を配布)
- 座席の前後左右ソーシャルディスタンスを確保。



Q & A

塩原研修委員長に伺いました。

「今回の感染症研修会において苦労した点について」

Q1、今回の研修を開催するまでの経緯等について

A 今年度の研修は軒並み中止になっています。その中で千葉県老健協会の会員へ何か還元できることはないだろうかかと研修委員・広報委員とも意見を出し合い、今回は録画をして参加できなかった施設への配布を行おうと、今回の感染症研修会の企画へときぎつけました。

Q2、研修開催に辺り感染対策で気を付けた所について

A とにかくこの施設も大変な時期に貴重な時間と人材を割く研修を企画するので、感染対策は万全で実施することを全員が気を使っていたと思います。

参加人数の制限(ディスタンスの確保)、衛生用品、参加者への普段からの体調管理の促し、研修中のサーキュレーターの活用、そして今回は「サーマルカメラ」のデモ機も業者さんへ協力をいただき受付時での検温を徹底させていただきました。

Q3、今後の研修が中止になってしまった経緯について

A まだ今年度の研修がどこまで開催できるか、何を開催すべきか検討の段階です。研究事例発表大会も今年度は中止。今後はWeb研修やeラーニングなど新しい研修の形を模索する必要があるのかもしれないですね。

Q4、研修を開催しての感想等について

A 今回は、千葉県の老健仲間が起こったクラスター事例で、一体どんなことが起こっていたのか、私たちへ伝えて頂けることはなんだろうかと、生の声を聞かせていただくことにこだわりました。また、行政からのコロナ発生時の動きや実際のガウンテクニクなど3時間という限られた中でしたが盛りだくさんの内容となり、募集を始めたらずいぶん定員が埋まってしまいました。みなさんの熱心な参加の様子を拝見していて、会員施設の知りたい情報欲しい情報にマッチしていたのかな、求められていた内容だったのかな、と感じました。

この時期の集合研修には賛否両論あるかと思いますが、企画して開催できてよかったと感じています。



今年度は、コロナ禍で思うような研修会が開催できませんでしたが、これからも参加者・参加施設が安心して受けられるような研修会を検討していただけたと思いますので、安心してご参加いただける事を私達広報委員も望んでおります。

最後に研修委員の皆様、「最初の一步を踏み出す」にはかなりのご苦労があったと思います。やはり一人一人が意識を持ち、感染対策を行い、コロナウイルス感染拡大を乗り切っていきたいと感じました。研修委員の皆様、本当にありがとうございました。

支援物資の寄付をいただきました。

新型コロナウイルス感染の影響により、マスクや消毒液などの必要物資が不足する折、
企業や行政よりマスクなどを寄付いただきました。

ご厚意に対しまして心より感謝申し上げます。

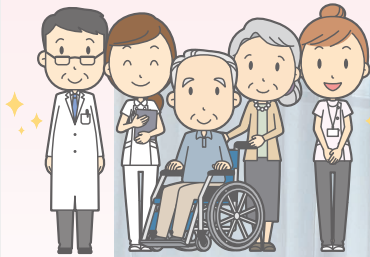
寄付いただきました物資につきましては、千葉県内の老健協会の会員様に配らせていただき、
先ずは新型コロナウイルス感染が発生した施設に優先的に送らせていただきました。

その他の物資につきましては、各施設に公平に分配できるように応募を取り、
寄付いただいた物資を必要な物を必要な施設に届けられるようにして大切に使用させていただきます。

今後も、地域の皆様のご期待に沿えますように邁進してまいります。

何卒、お力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。



- エーザイ株式会社様
(栄養ドリンク・ハンドクリーム・マスク)
- 県を通じて①
(布マスク500枚)
- 県を通じて②
(紙マスク20,000枚、フェイスシールド10,000枚、ガウン10,000枚)



冬に備えてもう一度 **感染対策**を見直しませんか？



次亜塩素酸
空間除菌脱臭機
次亜塩素酸ナトリウム製剤

オゾン発生器

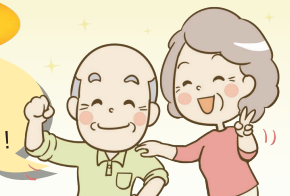
衛生管理に

感染対策に

二オイ除去に

医療現場のための除菌商品
小ロットからお見積り可能
他にも多数商品紹介できます！

談話室など人が集まる
場所の空間除菌や、
よく触る場所の衛生に！



岩淵薬品株式会社
千葉県船橋市本中山4-14-1

お気軽にお問い合わせ
合わせください！

(平日 8:30 ~ 17:30)
047-374-3009



福祉施設における

コロナ禍のメンタルヘルスケア

介護老人保健施設 ユーカリ優都苑

管理栄養士 長谷川 由易

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令されてから約半年が経過しました。当初未知のウイルスに対する不安や憶測により日々様々な対応に迫られ、実際に高齢者施設で働く職員のみならず、そのご家族も含め、罹患者になつてはならないという風潮にさらされてきました。

但し、現在に至っては、徐々に説明が進み、三密を避け、

ソーシャルディスタンスを保つ等の

対策を講じていけば、人から人へ感染するリスクは低いというエビデンスが出されております。とは言えど、

高齢者の命をお預かりしている立場としましては、やはり現在に至りましても外食や外出を伴うプライベートな時間を楽しむ事について罪悪感を抱いてしまうという状況におかれている方が多いのではないのでしょうか。コロナ禍で日々感染症対策に追われ、ストレスフルな環境下で働く職員の心の負担を少しでも軽くでき



撮影 令和2年4月



るような環境作りが求められていると思います。もし、自身の施設関係者で感染者が出たとしても、お互いに「責めなさい、支え合う、守る」といった信頼や安心感が職員の心を守る事に繋がるのではないのでしょうか。

今回この未知のウイルスにより、消極的な事柄も数多くありましたが、今回を機に改めて気づいた事も多くありま

した。それは、人と人との繋がりがや、人と顔を合わせて直接会う事の大切さです。普段あまり人付き合いやコミュニケーションが得意ではないと仰る方もいらつしゃるとは思いますが、今回「会いたくても会えない」という状況下に置かれてみると、「人と直接会い、表情を読み取り、会話をする」という何気ない行動が実はとても大切だという事に気づいた方が多いのではないのでしょうか。

当施設では、ご家族様の協力の元、未だ入居者様への面会制限を続けています。但し、ガラス越し面会をして頂き対面できる様な対応とさせて頂いています。

ウイルスに負けず、笑顔や思いやりを職員間同士、職員とご利用者、ご家族様間で共有し、共に支えあつていきたいなと思います。

福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



URL: <http://www.ingenious.co.jp>
TEL.048-257-2948

～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも

インジニアス株式会社

〒332-0031 埼玉県川口市青木 3-12-11

なののはな スマイル

明るく!

元気!

施設の笑顔をご紹介します!



龍岡ケアセンター

当施設はご利用様が安心して過ごして頂けるよう、一人一人に寄り添ったサービスを提供しています。今年で開設21年目となりますが、地域の皆様に信頼される笑顔あふれる施設を目指しております。

住 所：富里市七栄653-73
電 話：0476-92-6871
開設日：1998年4月16日
入 所：172名
通 所：40名

「ミャンマーから来ました、スマイル6人組です!!
日本に来て1年、明るい職場で頑張っています!!」



●龍岡ケアセンター
(左から)チャン・ヘエマー・チョチョ・カイン・プエ・ミンズ

メディケア51

市原市町田に昨年オープンした新しい介護老人保健施設です。明るく思いやりにあふれたスタッフたちによる多職種連携のもと、日常生活活動に重点を置いたリハビリテーションを提供することで、ご利用者様の在宅復帰を手厚くサポートしています。

住 所：市原市町田176
電 話：0436-63-5165
開設日：2019年5月1日
入 所：80名
通 所：90名

「キラメキ」「ヒラメキ」「ホトメキ」をモットーとし、職員一同ご利用者様のために、日々頑張っています。



●メディケア51
(左から)作業療法士/平川奨悟 介護福祉士/藤間花子 介護福祉士/野田千春 介護福祉士/伊藤和子



お知らせ 別冊100号記念誌発行準備中です! お楽しみに。



●編集後記

- 今回、老健協会に寄せられた援助物資の原稿を書くにあたり、事務局として施設の通常の業務をこなしながら、人手も無い中、各施設の方々に公平に分ける為に苦悩の日々を送っていたことを知りました。各施設の為にご尽力いただいていることに感謝いたします。ありがとうございます。(鈴木)
- 普段の生活からかけ離れた生活が続いています…。コロナ禍で外出も控え、感染対策に努めて日々生活されている皆様ストレス発散は出来ていますか? 今回の「なののはなだより100号」は色々な思いが詰まった広報誌となっています! 体調に気を付けてお過ごしください。(安達)
- まだまだ新型コロナウイルス感染症の対策に油断が出来ない状況です。一人一人がマスク・手洗い・消毒など、意識をもって心掛けたいと思います。(神作)

- 祝100号! やっとやっとこの日を迎えることができました。多くの方に支えられ、励まされ、楽しんで活動しています。皆様へ感謝申し上げます。これからもよろしくお祈りします。(若林)
- コロナ禍の中、記念すべき「第100号」、やっと発行です! 広報委員会活動(施設見学や委員会での情報交換)は、私の活力源の一つだったのですが、コロナのおかげで休止状態。皆様も日々、緊張感の中お過ごしのことと思います。どうぞ心身共にご自愛ください。(坂本)
- 祝100号! なののはなだより76号から広報委員となり、4年経った事を振り返りました。98号に斎藤進元広報委員長が永眠された事を皆様にお知らせ致しましたが、本当ならばこの100号の中の記事になのはなだより1号から携わった「斎藤委員長となのはなだより」として特集をお願いするつもりでした。今までの思いを忘れず、これからも宜しくお願い致します!(福田)